

長崎県技術士会の設立と歩み (その2)

— 設立年について —

長崎県技術士会 副会長 川村昭宣

1、はしがき

長崎県技術士会の歴史については、監事の大橋義美さんが「長崎県技術士会の設立と歩み」としてまとめて、平成 26 年 10 月 10 日発行の機関紙 46 号に報告されました。

その後更に、長崎県技術士会設立時の状況を調査しましたので、「その2」としてご報告致します。今回の調査でも、まだ不明な点が色々残っており、今後も調査を続け、その結果については、「その3」として次回報告する予定です。

これからも、皆様からの更なる情報提供をよろしくお願いいたします。

2、調査方法

今回まず、長崎県技術士会設立時に技術士として活躍されていた犬東洋志前会長、永濱伸也元副会長、城石高弥元代表幹事、柏原公二郎元副会長、吉田強技術士に問い合わせ致しました。

更に桐原敏元理事、松竹英雄技術士、高木辰治技術士から、長崎県技術士会設立の中心として活躍された黒瀬正行氏、野々下金氏、藤永勝之氏、田中武熊氏の事を教えていただきました。また筒井光男技術士から、長崎県技術士会設立当時に合格されていた技術士の方々の情報をいただきました。皆様のご協力に深く感謝し、御礼申し上げます。

特に柏原公二郎元副会長は貴重なメモをいろい

ろ保存しておられ、今回多くの事が明確になりました。

また 2001 年 (平成 13 年) 6 月 15 日発行の日本技術士会創立 50 周年記念誌や、月刊技術士の増刊号として発行された 45 年史、40 年史、35 年史、30 年史、等も参考として調査致しました。

長崎県技術士会の名簿は、1981 年 (昭和 56 年) から 2010 年 (平成 22 年) までの長崎県年鑑に掲載されていて、長崎県立図書館に保存されているので、これも参考とさせていただきました。

3、長崎県技術士会設立年度

昭和 50 年 6 月 11 日、長崎市の公会堂前の「松楽」にて、第 1 回の総会が開催されました。今年は長崎県技術士会創立 40 周年ということになります。

今年 6 月の総会では、同時に長崎県技術士会創立 40 周年記念の式典も、開催したいと考えております。

4、初代会長

1981 年 (昭和 56 年) の名簿では、田中武熊氏が会長 (当時は支部長) となっていますが、「昭和 52 年の会長は黒瀬正行氏だった」との情報があるので、長崎県技術士会が設立された昭和 50 年時点の、初代会長も黒瀬正行氏ではないかと推測されます。黒瀬氏から田中氏へ会長変更になった年は不明です。

5、長崎県技術士会発足時の会員

現在判明している最も古い名簿は 1981 年 (昭和 56 年) 版で、その時の会員 (敬称略) は、田中武熊会長、黒瀬正行、城石高弥、野々下金、藤永勝

之、高村清、吉田強、五反田進、柏原公二郎、犬東洋志、野村幸平、永濱伸也、芳賀三千億、鯉坂卓之、岡崎勝、平井久義、渡辺悟、緒方勇、杉本徳博、の19名です。

第1回総会時の会員は黒瀬正行氏、野々下金氏、藤永勝之氏、田中武熊氏、芳賀三千億氏、柏原公二郎氏、といった方々で、10名弱だった様です。

昭和56年版名簿の中で、平成26年版名簿でも会員として登録されているのは、平井久義氏、吉田強氏、柏原公二郎氏、芳賀三千億氏の4人だけとなっています。

6、会及び会長の名称

1981年(昭和56年)から1985年(昭和60年)発行の名簿では、「社団法人日本技術士会長崎県支部」となっており、代表者の名称も支部長となっております。

1986年(昭和61年)以後は、「(社)日本技術士会九州支部長崎県技術士会」または単に「長崎県技術士会」となっており、代表者の名称も会長に変更されています。

名称がこの様に変更されている事の詳細経緯は、不明です。

7、長崎県技術士会設立時に活躍された方々

長崎県技術士会設立時に活躍されたのは、黒瀬正行氏、野々下金氏、藤永勝之氏、田中武熊氏といった方々で、その技術士活動の概略を紹介致します。

1) 黒瀬正行氏

1921年(大正10年)のお生まれで、1972年(昭和47年)～1994年まで大洋技術開発社長、その後会長をされ、2011年頃お亡くなりになりました。

この間、科学技術庁長官表彰や黄綬褒章等も受賞されています。

昭和35年技術士に合格された後、技術士会の発

展に力を注がれ、長崎県技術士会会長、九州支部支部長、日本技術士会副会長に就任されるなど、日本技術士会の発展に大きく寄与されました。

昭和49年から53年まで九州支部の幹事、昭和54年から56年まで本部の理事、昭和55年九州支部長、昭和56年57年度九州支部顧問、昭和58年59年九州支部幹事、昭和60年から平成元年まで本部の副会長、昭和60年から平成3年まで九州支部の顧問をしておられます。

2)、野々下金氏

野々下金氏は、1918年(大正7年)のお生まれで、昭和43年から平成19年まで大栄開発(株)の社長、会長をされ、2007年(平成19年)88歳でお亡くなりになりました。この間長崎県知事表彰「産業功労(建設)」を受賞されています。

昭和42年に技術士合格され、昭和54年から57年まで九州支部の幹事、昭和58年59年に九州支部副支部長、昭和60年61年に九州支部支部長、昭和62年から平成3年まで九州支部顧問をしておられます。

3)、藤永勝之氏

1914年(大正3年)のお生まれで、昭和27年から平成14年まで藤永建設・藤永地建(株)の社長、会長をされ、2002年(平成14年)87歳でお亡くなりになりました。この間、黄綬褒章、勲五等瑞宝章も受章されています。

技術士には昭和42年度合格、昭和60年から平成3年まで九州支部幹事、昭和62年(それ以前?)から平成5年まで長崎県技術士会副会長をされています。

4) 田中武熊氏

長崎県都市計画課長や長崎県土地開発公社常務理事などを歴任後、大洋技術開発技術顧問として、昭和50年の長崎県技術士会発足後平成5年までの

長期間、会長として長崎県技術士会を大きく発展させてこられました。

私が合格した平成2年にも、合格直後に合格祝いの手紙や電話をいただき、入会を勧誘されました。会長であると同時に会計、総務、広報など総ての業務をほとんど1人で担当されておられた様に見え、惜しまれつつ平成5年お亡くなりになりました。

針尾無線送信所（無線塔）跡の見学会報告

長崎県技術士会顧問 岡林隆敏

見学会日時：平成27年2月7日（土）午後1時
～午後16時

見学場所：針尾無線送信所跡（3号塔、1号塔、
送信所局舎）（国指定重要文化財）

参加者：技術士会会員18名、佐世保市教育
委員会2名

講師：佐世保市教育委員会社会教育課主査
松尾秀昭（学芸員）
長崎県技術士会顧問 岡林隆敏（長崎
大学名誉教）

平成27年2月7日（土）に本年度の長崎県技術士会の定期見学会として「針尾無線送信所（無線塔）」の見学会を行いました。見学会の目的は、①国指定文化財に指定された、近代的な建造物の見学と、②建設後約100年経た鉄筋コンクリートの劣化の観察です。針尾無線送信所の主な建造物は、3基の無線塔と局舎があります。針尾無線塔は3基とも大正11年(1922)に完成しています。無線塔の構造は、塔長：基部から137.08m、基部直径12.192m、基部厚さ：0.762m、頭頂部直径：3.043

mです。平成25年3月6日に国重要文化財（建造物）に指定されています。

1) 針尾送信所の概要と無線塔の鉄筋コンクリートの説明、3号塔の見学

第3号塔の前に集合し、佐世保市松尾学芸員から、針尾無線塔の概要と文化財としての評価の説明を受けました。

日本の通信施設に関連した建造物として、国の重要文化財に指定されたこと。長波の通信施設として大正11年（1922）年に建設されたが、時代は短波の通信に代わり、その後通信技術の発展に対応して現在まで残されてきたこと。また、使用された骨材は唐津の川の砂利であり、十分水洗いされ、布で拭き取って使われたことが、工事に携わった人から伝わっていることが、紹介されました。



写真1：針尾無線塔全景

岡林は、無線塔の施工と鉄筋コンクリートの品質の良さを紹介しました。塔の内部に足場を造り、型枠はこの中足場から外に吊り下げた外足場でコンクリートの打設を行ったことを説明しました。コンクリートの作業高さは、型枠の痕跡からも1日4ft.6in（1.37m）で、打設回数100回により、傾斜寸法137.16mになります。中性化試験からも、中性化深さ、外部で20mm、内部で38mmと劣化の少ないコンクリートの試験結果がでていること

を紹介しました。

2) 無線塔局舎の見学と説明

無線塔局舎は現在一般公開されていませんが、今回、技術士会の見学会ということで、特別に見学できました。建物全体は、耐爆設計され、特に屋根の部分はアーチ構造となっています。内部は、長波のための強力な発電機と変電施設が置かれていた機械室になっています。操業当時の重々しい雰囲気が伝わってくる建物でした。昭和期に拡張された部分の鉄筋コンクリートが老朽化し、危険な状態になっていることが分かりました。



写真2：無線塔局舎見学

3) 1号塔の見学と説明

1号塔も一般公開されていませんが、特別に内

部を見学することができました。3号塔と同じく、ウインチや張力確保のための重錘が残されていました。無線塔のコンクリートは、3号塔と比べると、少し雑な施工がされているように見られました。

針尾無線塔は、先に講演会（岡林）で説明をしていましたが、やはり構造物に近づくと、規模の大きさに圧倒されると共に、実在の構造物の存在感が伝わってきます。



写真3：見学会出席者

参加者の意見を聞くと、実物を見ることによる現場見学の意義が評価されていることが分かりました。

※長崎県技術士会お知らせ・編集後記

- (1) 平成 27 年度版の会員名簿を準備中です。新しく職場や組織等が変更になった方々は所属・連絡先などをお早めにご連絡いただきますようお願い致します。
- (2) 平成 27 年度の総会・研修会・交流会を 6 月 20 日（土）に諫早市で予定しています。今年度の総会は、役員改選など重要な議案が予定されています。多数の会員の皆様方の出席をお願い致します。
- (3) 川村副会長の長崎県技術士会史の調査・研究が進んでいますが、今年は、長崎県技術士会創立 40 周年です。加えて、「機関誌 APREN」も次回 50 号となり諸先輩方が築き、伝承されている会の業務に参加できることに誇りを感じるとともに責任の重さを感じます。今後とも技術士として自己研鑽に努め、会の発展の為に会員皆様方のご意見・ご指導を賜りますようお願いいたします。

園田 直志
N. ソノダ技術士事務所
〒852-8021 長崎市城山町 2-4
TEL. 080-3226-7200 FAX. 095-861-8279
Email: sonoda_naoshi@icloud.com

松本 守
(有) 創拓エンジニアリング
〒852-8041 長崎市清水町 2 番 4 号 FGEX 長崎ビル 3F
TEL. 095-849-1781 FAX. 095-849-1749
Email: so_matu@d2.dion.ne.jp